

# 可動間仕切

---

## 1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和7年版20章2節に規定する可動間仕切とする。なお、国土交通大臣認定の「耐火構造間仕切」および空間の仕切り方の種類で、自立形は対象外とする。

## 2. 品質・性能等

- （1）品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- （2）主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- （3）性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

## 3. 評価名簿詳細事項

- （1）材料の構造形式、防火性能等の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。
- （2）「構造形式」が“スタッド式”のものについては、「構造形式備考」で“スタッド内臓”または“スタッド露出”と表示している。

## 可動間仕切

### 評価内容 (別紙)

項目		品質・性能	備考	
材 料	パネル	表面材	JIS A 6512 の表9 に対応する材質とし、鋼材については防食処理および防錆処理を施した材料とする。	
		裏打材	JIS A 6512 の表9 に対応する材質とする。	
		充填材・心材	同上	
	ドアパネル	表面材	JIS A 6512 の表9 に対応する材質とし、鋼材については防食処理および防錆処理を施した材料とする。	
		枠材 (補強部材)	JIS A 6512 の表9 に対応する材質とし、鋼材については防食処理および防錆処理を施した材料とする。	
		心材	JIS A 6512 の表9 に対応する材質とする。	
		エッジ材	JIS A 6512 の表9 に対応する材質とし、鋼材については防食処理および防錆処理を施した材料とする。	
	その他の部材	ドア枠表面材	同上	
		笠木	同上	
		天井レール	同上	
		床レール	同上	
		幅木	同上	
		目地	同上	
スタッド等		同上		
付属金物	ドアクローザ	本体：アルミニウム合金製、アーム部：鋼製 (焼付け塗装)		
	丁番	ステンレス製		
	錠前	ステンレス製		
	上げ落とし	亜鉛合金製程度		

## 可動間仕切

項 目		品 質 ・ 性 能	備 考																											
品 質	パネルの外観	欠 点	外形に使用上支障のある反り、曲り、ねじれ、その他の変形がなく、また、表面に美観上のきず、汚れなどがないこと。																											
		安 全 性	人体または衣服の触れるおそれのある部分には、鋭い突起などがなく安全であること。																											
		塗 装 面	光沢・色調が均等で、塗りむら、たれなどがないこと。																											
	金 物	使用上有害な傷、す等の欠点のない良質なものであること。																												
	ホルムアルデヒド	パネル・ドアパネル	ホルムアルデヒドの放散量をF☆☆☆☆とすること。																											
		接 着 剤	ホルムアルデヒドの放散量をF☆☆☆☆とすること。																											
塗 料		ホルムアルデヒドの放散量をF☆☆☆☆とすること。																												
寸 法	寸 法 許 容 差	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">部位</th> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 30%;">呼び寸法</th> <th style="width: 10%;">製品寸法</th> <th style="width: 10%;">許容差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">パネル</td> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td>JIS A 6512 のモジュール呼び寸法に対応できること</td> <td>±30 mm</td> <td>±5 mm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">幅</td> <td>同 上</td> <td>-50 mm 以内</td> <td>±5 mm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">見込み</td> <td>同 上</td> <td>±5 mm</td> <td>±5 mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ド ア</td> <td style="text-align: center;">高さ</td> <td>同 上</td> <td>±30 mm</td> <td>±5 mm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">幅</td> <td>同 上</td> <td>-50 mm 以内</td> <td>±5 mm</td> </tr> </tbody> </table>	部位	項目	呼び寸法	製品寸法	許容差	パネル	高さ	JIS A 6512 のモジュール呼び寸法に対応できること	±30 mm	±5 mm	幅	同 上	-50 mm 以内	±5 mm	見込み	同 上	±5 mm	±5 mm	ド ア	高さ	同 上	±30 mm	±5 mm	幅	同 上	-50 mm 以内	±5 mm	
部位	項目	呼び寸法	製品寸法	許容差																										
パネル	高さ	JIS A 6512 のモジュール呼び寸法に対応できること	±30 mm	±5 mm																										
	幅	同 上	-50 mm 以内	±5 mm																										
	見込み	同 上	±5 mm	±5 mm																										
ド ア	高さ	同 上	±30 mm	±5 mm																										
	幅	同 上	-50 mm 以内	±5 mm																										
加 工 ・ 組 立	表面材の接着方法 [表示項目]	申請者の規定による。																												
	小口の接着方法 [表示項目]	申請者の規定による。																												
	金物取合い補強板の 取り付け方法 [表示項目]	申請者の規定による。																												
	現場施工時の注意点 [表示項目]	申請者の規定による。																												
	施工誤差への対応性 [表示項目]	申請者の規定による。																												

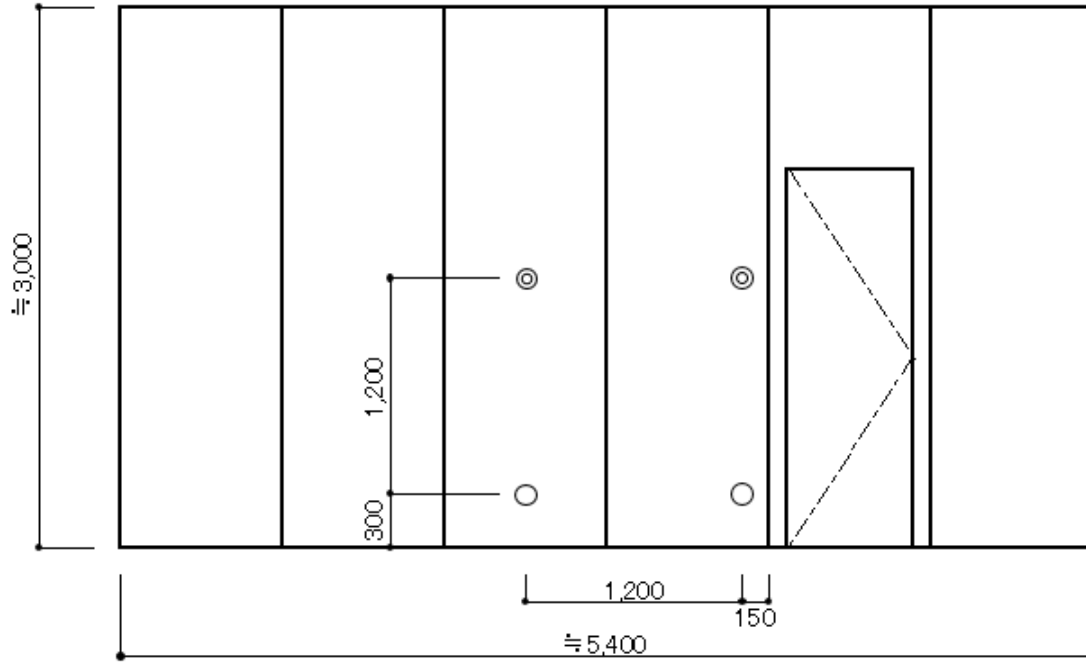
## 可動間仕切

項 目		品 質 ・ 性 能		備 考
性 能	耐衝撃性能	質量 1 kg 衝撃試験	試験後、使用上有害な表面の割れおよびはがれのないこと。	
		質量 50 kg 衝撃試験	試験後、構造部材の折れおよび曲がりがなく、両面に使用上有害な表面の割れおよびはがれがないこと。	
	開閉耐久性能	開閉回数 10万回	試験後、開閉に異常がなく、使用上支障がないこと。	
	面内変形 追従性能	層間変形角 高さの 1/150	試験後、使用上有害な割れおよびはがれが生じないこと。	
	遮音性能	性能 [付帯性能]	申請者の規定による。	
	遮音性能の条件	[表示項目]	申請者の規定による。	
	難燃性能	性能 [付帯性能]	難燃 3、難燃 2、難燃 2A または難燃 1	
	防火性能	性能 [付帯性能]	申請者の規定による。	
試験方法	<p>1. 衝撃試験は、JIS A 6512 の「8.1 衝撃試験」による。また、試験体は、別紙「衝撃試験および開閉耐久試験の試験体について」による。</p> <p>2. 開閉耐久試験は、JIS A 1530 による。また、試験体は、別紙による。</p> <p>3. 面内変形追従性試験は、JIS A 1414-2 による。また、試験体は、幅 900 mm 程度/枚を 3 枚とし、高さ 2,700 mm 以上とする。</p> <p>4. 遮音性試験は JIS A 1416 による。なお、試験は、社内試験でも可とする。</p> <p>5. 難燃性試験は、JIS A 1321 による。</p>			

## 可動間仕切

### 別紙「衝撃試験および開閉耐久性試験の試験体について」

1. 試験体のタイプ  
標準タイプのパネル（全面パネル）とする。
2. 試験体の大きさ



◎：50kgの衝撃体の衝撃位置 ○：質量1kgの衝撃体の衝撃位置

3. 試験順位
- 1番：開閉耐久試験
  - 2番：衝撃試験